資料3

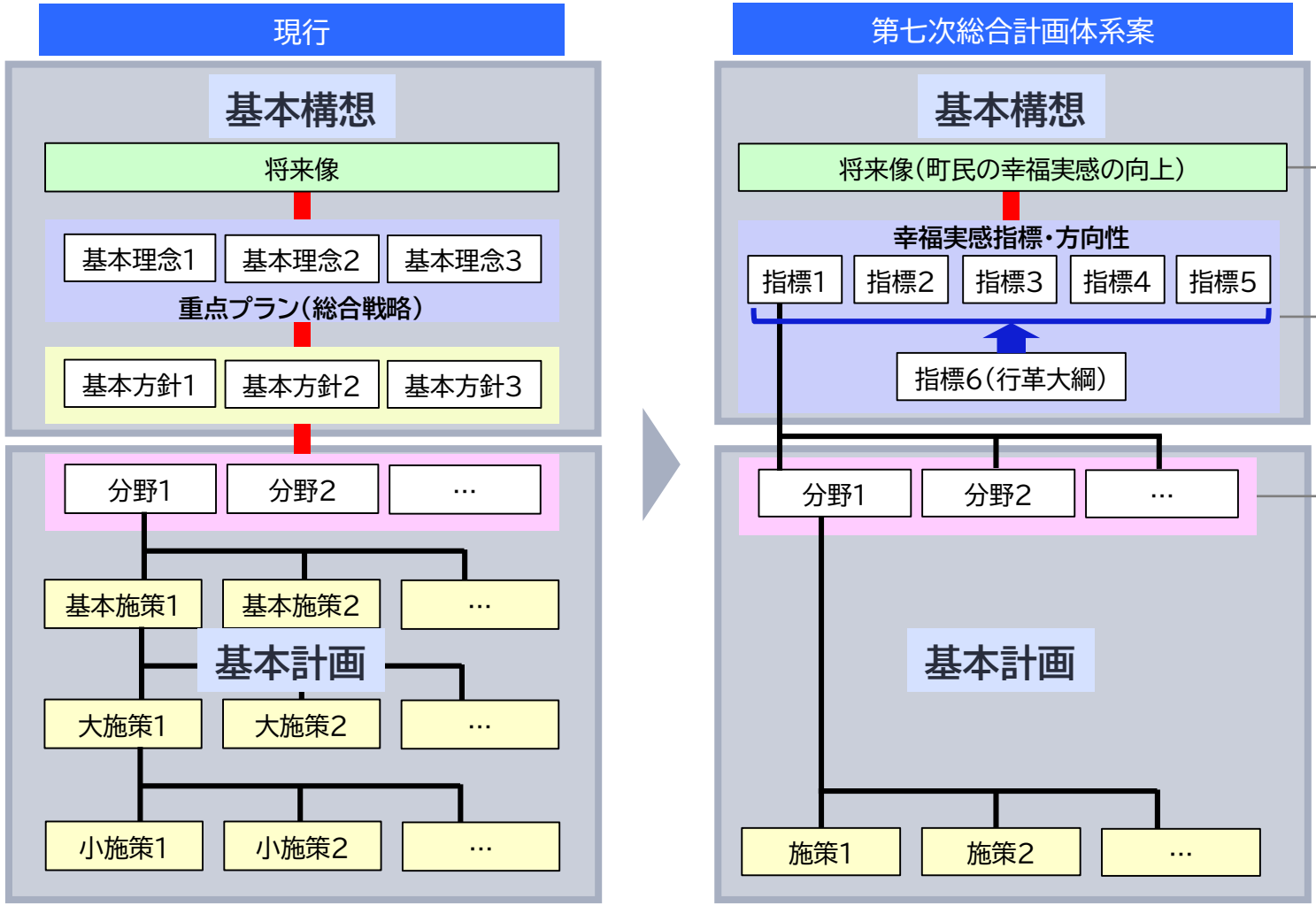
第七次中井町総合計画

総合計画の基本計画骨子案について

2025年2月25日

1. 第七次中井町総合計画の体系について

Point 第七次中井町総合計画の体系については、町民意識調査から導き出された幸福実感指標を柱とする、シンプルな構成とすることで、誰もが分かりやすいものとする。



町民の幸福の実現に向けた将来像である目標を示す。

将来像の実現に向けた町民のウェルビーイングに関する意識調査を踏まえた方向性を示す。また、すべての指標達成の手段として、行政改革大綱を6つ目の柱として位置づける。

基本計画において定める部分。
方向性を実現するための政策分野や具体的な施策を関連付ける。

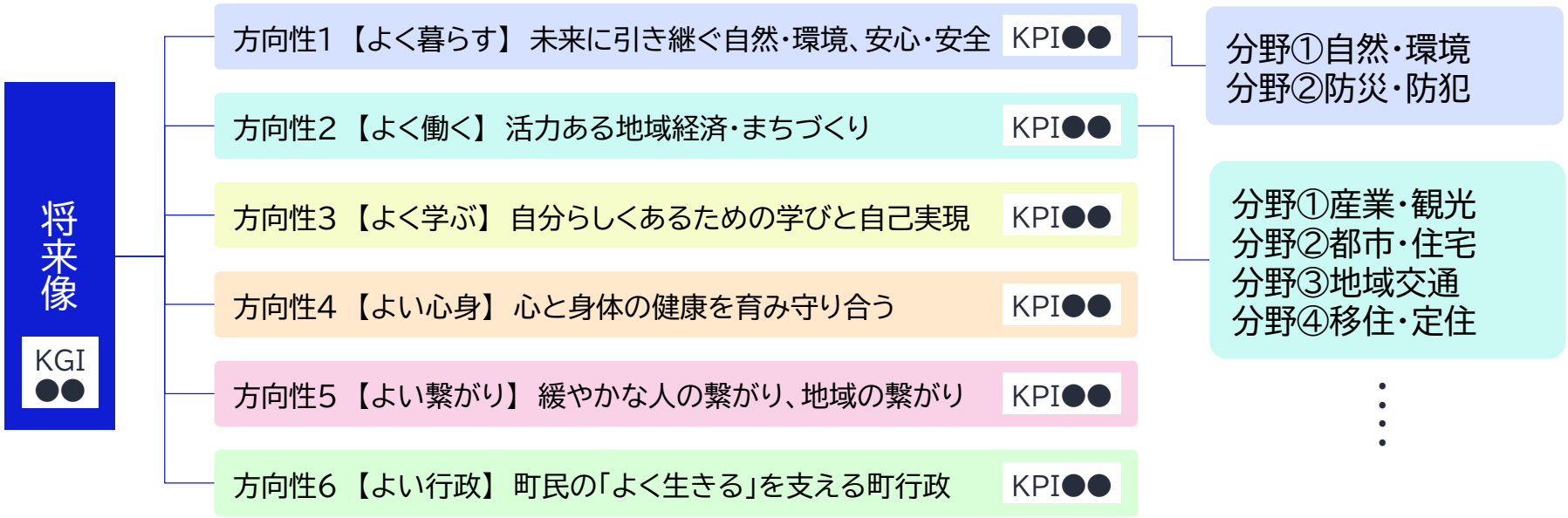
【政策分野の案】
自然・環境、防災・防犯、文化、自治・連携、移住定住、健康、福祉、子育て、医療、教育、産業・観光、まちづくりなど

2. 基本計画骨子案の構成について

Point 基本計画については、総合計画体系を踏まえ、各方向性の実現に寄与する政策の分野及び施策を位置付けるものとし、以下のような構成案としてはどうか。

【基本計画の構成案】
1. 施策体系と目標（基本計画の全体像の提示）
2. 施策
   - 基本計画の見方
   - 方向性1～6に紐づく分野別に実施施策及び個別の目標値を説明

【施策体系】



※施策分野だけだと伝わりづらいため、例えば、自然・環境については、「里山の豊かな自然環境の確保」など分野のイメージや目標を示すような言葉を定めることを検討。

2. 基本計画骨子案（施策体系と目標）

Point

冒頭に基本計画全体像を理解いただけるよう、構成図を示す。
各方向性に位置付ける分野・施策については、各課へのヒアリング結果を踏まえて、今後調整を行う。

2. 基本計画骨子案(分野・施策の説明)

Point

基本計画において定める分野ごとの取組内容の説明の骨子案は以下のとおり。
方向性の実現に資する分野別の方針説明、現状と課題及び施策実施方針等により構成。

【施策ごとの構成案】

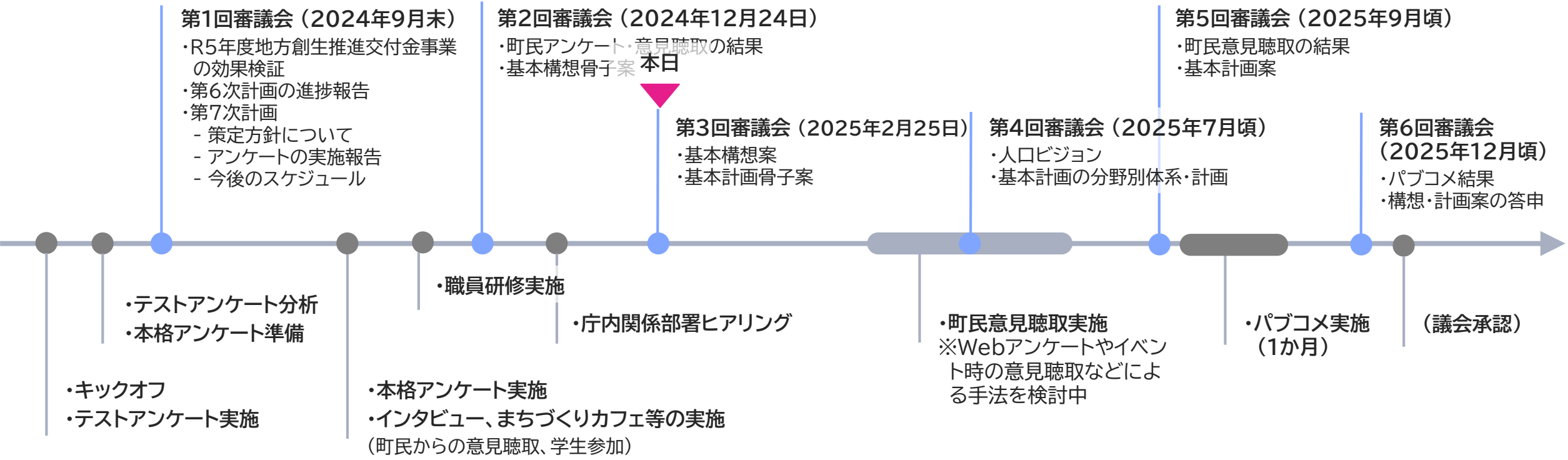
方向性1【よく暮らす】未来に引き継ぐ自然・環境、安心・安全

分野1　里山の豊かな自然環境の確保

●●●

3. 中井町第7次総合計画策定までの全体スケジュール

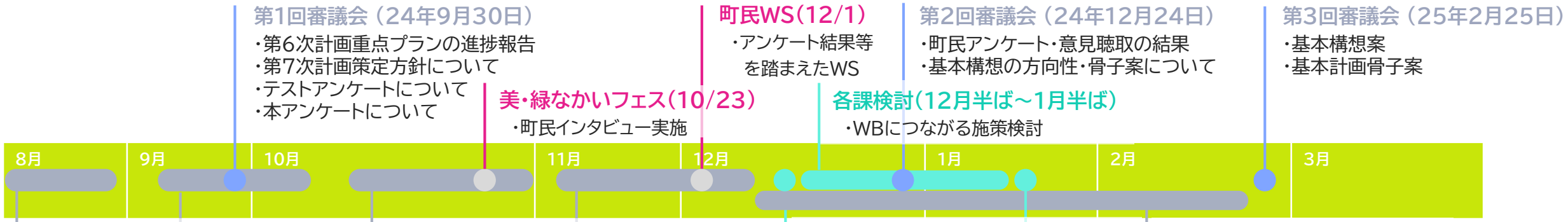
Point 総合計画策定に向けたスケジュールは以下を想定



（参考）2024年度内の取組のまとめ

審議会
中井町各課職員対応
事務局対応（企画課・NEC）

Point 今年度は、次期総合計画の策定に向けた町民アンケート等による意見の聴取を踏まえた基本構想を検討。
今後、基本計画案の検討を進め、基本構想案に関して必要な修正を行い、2025年度中の策定を進める。



第1回審議会（24年9月30日）
・第6次計画重点プランの進捗報告
・第7次計画策定方針について
・テストアンケートについて
・本アンケートについて

美・緑なかいフェス（10/23）
・町民インタビュー実施

町民WS（12/1）
・アンケート結果等を踏まえたWS

第2回審議会（24年12月24日）
・町民アンケート・意見聴取の結果
・基本構想の方向性・骨子案について

各課検討（12月半ば～1月半ば）
・WBにつながる施策検討

第3回審議会（25年2月25日）
・基本構想案
・基本計画骨子案

テストアンケート実施（8/1～13）
目的：中井町の幸福度に関する特徴抽出のためのテスト
対象：自治体加盟2,270世帯、SNS、職員、町内企業
回答数：325件
→アンケート分析を踏まえて本格アンケートの設計に反映

本格アンケート内容の検討・決定
・テストアンケートを踏まえた修正
・町内居住者を無作為抽出
・その他、中学生、町内企業を対象
・9/19頃に原稿入稿（その後調整）
・10月初旬に発送

本格アンケート実施（10/11～28）
目的：中井町の幸福度に関する本格調査
対象：町内居住者3,000名程度、中学生、企業従業員
回答数：700件程度を想定

アンケート分析（～11月半ば）
・本格アンケート結果等の分析
・Well-Beingにつながる要素を抽出し、施策軸の検討のベースとなるロジックモデル仮説を作成

町民意見分析（～12月半ば）
・町民WSを踏まえたロジックモデル仮説の再検証・修正

職員研修及び依頼（12/19）
・Well-Being調査結果の共有
・ロジックモデル仮説の説明
・構想骨子案に対する意見交換
・ロジックモデル仮説を踏まえた施策検討に関するグループワーク

庁内各課ヒアリング（1/23～24）
・ロジックモデルに対する意見・見直し案の収集
・必要な施策案に関する聴取（現在の事業との関係性や見直しの有無、新規事業の必要性など）

ヒアリング等を踏まえた検討
・庁内ヒアを踏まえたロジックモデルの修正
・基本構想案の策定
・関係者への事前説明